別紙

令和７年度第５回三田市地域公共交通活性化協議会　意見等

意見１

・幹線補助の⑥で「需要に応じた運行計画見直し」とあるが，これをやると路線が縮小再生産される。利用促進することを記載して下さい。

事務局回答

ご意見のとおり、取組はバスの利便性向上や利用促進に資するものであるため、記載内容をその旨に修正いたします。

意見２

・フィーダー補助の⑤で「減便することなく…」の記載が目に付くが，これはコロナの時に頑張ったという主旨で記載したものです。評価も含めて再考して下さい。

事務局回答

移動手段の確保を主旨とした「減便することなく…」の内容につきましては、コロナ過があけた状況を踏まえて削除いたします。なお、同じ項目に記載しているバス停に接続する自家用有償旅客運送などの取組は、利用者確保・増加に資することから、利用者の確保に努めている主旨の内容に修正いたします。

評価につきましては、輸送人員の目標を達成した場合はＡとしています。輸送人員の目標を達成していない場合にあっても、令和６年度よりも輸送人員が増加した路線については、目標達成の可能性（見込み）があると評価しＡとします。令和６年度よりも輸送人員が減少した路線にあっても、上記取組による利用者確保・増加の効果発現を見込み評価をＢとします。

意見３

・以下の箇所は誤記と思われます

資料２(1)の「④事業実施の適切性」の欄について

～生活利用についてもに寄与・・・×

～生活利用についても寄与・・・○

事務局回答

ご指摘ありがとうございます。修正いたします。

意見３

・次回に向けて資料の準備をお願いします。

　輸送人数、輸送量、輸送密度、に加えて、便数、路線地域の総人口、高齢者人口、通学者人口を、できれば、路線開設時から現在まで、これをグラフ化願います。

　これを地域団体に開示し、地域で、路線維持拡大に向けての検討をお願いしたい。バス事業者での検討事例があれば、収集願いたい。他自治体でも検討事例があれば、収集願いたい。よろしくおねがいします。

事務局回答

　ご意見の路線維持拡大に向けての検討につきましては、ご提案の項目含め、どういった内容の情報整理が必要か、その内容や地域への提供の方法も含めて検討したいと思います。